

WG5 JGS3531 地盤のプレボーリング高圧プレッシャーメータ試験方法

No.	意見内容	意見への対応
1	「1. 適用範囲」において「変形特性を求めるための」とあるが、JGS1531では具体的に「地盤の変形係数、降伏圧力及び極限圧力を求める方法」と記載しているため、当該基準においても具体的にパラメータを明記すべきである。	ご指摘に基づき、「せん断剛性率、変形特性変形係数、弾性係数及び降伏圧力」としました。
2	「4.2 プローブ」において、「加圧部の長さは、長さ/直径の比が6以上とすることが多い。」となっているが、ISO, ASTM, JGS1531で6倍以上となっているので、統一すべきではないか。	ご指摘に基づき、「6以上とする」と修正しました。
3	「4.2 プローブ」において、ゴムチューブを保護する金属膜などについて追記すべきではないか。	本基準では不要としました。従って、公示案のままとします。
4	「5.2 キャリブレーション」とあるが、ISOのcalibration testに合わせて「キャリブレーション試験」とすべきではないか。	「キャリブレーション」は一般的な表現と考えておりますので、公示案のままとします。
5	「5.2.3 孔壁圧力、孔壁変位の計測誤差に対するキャリブレーション」において、「プローブを鉛直に立てて」とあるが、「圧力・変位量の制御・測定機の高さで静置し」としてはどうか。	ご指摘に基づき、「鉛直に立てて」を「静置して」と修正しました。
6	「6.3 载荷パターン」における「図2 载荷パターンの例」は、3室型には適用できないため、3室型を対象外にするか図の修正が必要である。	ご指摘に基づき、3室型を対象外とし、全体の記述を修正しました。
7	「7.1 データの整理」において、JGS1531ではパラメータ毎にセクションを分けているので、書き方を統一すべきではないか。	各基準のパラメータ導出過程の違い等を踏まえ、公示案のままとします。